

CSR report
2014



興銀リースグループは

CSR(企業の社会的責任: Corporate Social Responsibility)を

事業活動の基本に据え、

「お客さま」、「環境・社会」、「株主・投資家の皆さま」、「社員」の

各ステークホルダーの満足と信頼を得ること、

コンプライアンス(法令遵守)や内部統制等「規律」を

徹底することにより、社会の持続的発展に貢献してまいります。

編集方針

本CSRレポートは、興銀リースグループのCSR(企業の社会的責任)への取り組みについて、皆さまに分かりやすくお伝えすることを目的に発行しております。このレポートを通じて、「お客さま」、「環境・社会」、「株主・投資家の皆さま」、「社員」及び「規律」に関する当社グループの取り組みをご紹介します。

報告対象期間

2013年4月から2014年3月まで(一部期間外の取り組みを含みます)

報告対象範囲

興銀リースグループ全体を対象としています。

contents

02 トップメッセージ

04 **お客さまとともに**

興銀リースグループの主要な商品・サービス
生活とともにある興銀リースグループの事業
医療・介護分野への取り組み
環境・エネルギー分野への取り組み
社会に貢献するさまざまな事業
循環型社会への取り組み
海外での事業展開
グループ会社が提供するソリューション

24 **社員とともに**

ワーク・ライフ・バランス
多様な人材の活用
社員一人ひとりの成長のために

28 **環境・社会への取り組み**

環境・社会への取り組み

30 **株主・投資家の皆さまとともに**

株主・投資家とのコミュニケーションについて

32 **興銀リースについて**

コーポレート・ガバナンス／内部統制
コンプライアンス／リスクマネジメント
興銀リースグループの概要



代表取締役社長 兼 CEO **大西 節**

興銀リースグループは法人向け総合金融サービスグループとして、国内外における幅広いサービスの提供を通じて社会、経済、環境等と密接に結びついており、また、グローバル化の進展に伴いその範囲は世界に広がっております。わが国経済は、政府による成長戦略の具体化等により引き続き緩やかな回復が見込まれております。今後、企業収益の改善を背景とした設備投資の拡大が期待されるなか、当社グループのビジネスチャンスも一層広がるものと想定しております。

こうした状況を見据え、当社グループは本年4月より3年間の第4次中期経営計画をスタートいたしました。この計画において、当社グループは「時代を見つめ、お客様と共に成長する特色ある総合金融サービスグループ」の実現のため、「新たな成長への挑戦」をテーマに、近年取り組んできた事業環境や社会構造の変化に即した顧客基盤や事業領域の拡大を進めてまいります。

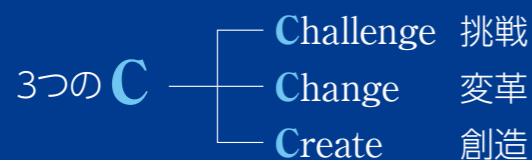
■ 企業理念

私たちは、豊かな未来へ繋がる価値ある金融サービスの提供を通じて、広く社会に貢献する企業グループを目指します。

■ 経営方針

1. お客様のニーズにお応えし、グループの総合力を結集して、的確かつ迅速なサービスの提供を目指します。
2. 株主・市場からの評価と信頼の一層の向上に努めます。
3. 積極的な人材の育成・登用と自己研鑽を通じて、活力に満ち、働き甲斐のある会社風土の醸成に努めます。
4. 法令及びその精神を遵守すると共に、企業としての社会的責任を常に認識し、広く社会の理解と共感を得られる企業グループを目指します。

■ 行動指針



お客さまとともに

興銀リースグループは、多様化するお客さまのビジネスニーズに対し、高度な専門性と豊富なノウハウに基づく最適なソリューションを提供することで、広く社会に貢献してまいります。たとえば、景気回復により更なる需要の拡大が見込まれる「流通・小売」等の内需型産業に対しては、グループの特性を活かした幅広いサービスを提供しております。また、社会的課題でもある「医療・介護」分野では、医療機器のメンテナンスリース等、医療・介護関係者のさまざまなニーズに対応する独自のサービスを展開しております。さらに、「環境・エネルギー」分野では、リース等のファイナンスのみならず、関連する補助金申請のサポート等にも力を注いでおります。

海外におきましても、引き続きアジア地域を中心にお客さまの海外展開のサポートをしてまいります。

内部管理体制の強化と情報公開

興銀リースグループは、社会的存在である企業の責任と役割を継続的に果たし、すべてのステークホルダーから満足と信頼をいただくため、コーポレート・ガバナンスの充実と強化を図っております。具体的には、独立性の高い社外役員による経営監視機能の強化等、体制の整備に取り組むとともに、内部統制システムの有効かつ適切な運用や、コンプライアンスの徹底及び災害等の非常

事態に対する危機管理体制の整備にも取り組むことで強固な内部管理態勢を堅持しております。

あわせて、社会から信頼される存在であり続けるため、公平かつ適時、適切な情報開示を行い、企業活動の透明性確保を図っております。

社員及び環境・社会

興銀リースグループでは、こうした事業活動を通じて社会への貢献を続けていくため、社員を最も重要な経営資源と位置づけております。各種研修プログラムやキャリアアップ制度等で人材育成支援の充実を図りながら、働きがいのある職場環境づくりや多様な働き方を可能にする制度を構築し、社員の「ワーク・ライフ・バランス」の実現にも努めております。また、事業活動において日々、環境負荷の軽減に努めております。当社グループは、企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility) を基本に据え、事業活動を組織的かつ継続的に推進し、持続可能な社会の実現に貢献することにより、企業価値の更なる向上を目指してまいります。

今後も皆さまの期待にお応えし、社会の発展に貢献できるよう、役職員一同たゆまぬ努力を続けてまいりますので引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

興銀リースグループの主要な商品・サービス



主要な商品・サービス

■ ファイナンスリース

お客さまが選定した機械設備をリース会社が購入し、お客さまに賃貸する取引です。資金面の他、機械設備の所有・管理に伴う事務の代行効果などさまざまなメリットをお客さまにご提供しています。

■ オペレーティングリース

機械設備の将来価値をあらかじめ差し引いてリース料を算定する取引です。ファイナンスリースの資金、事務代行等のメリットに加え、オフバランス等、会計・税務上のメリットがあります。

■ 割賦販売

お客さまが選定した機械設備をリース会社が購入し、お客さまに分割払いで販売する取引です。

■ オートリース(メンテナンスリース)

自動車を対象としたリース商品です。車両管理サービス等も含めたリースにより、お客さまの管理負担の軽減、安全運行の確保に役立っています。

■ 貸付

さまざまな資金ニーズに関し、リース会社が資金を融資する取引です。

■ 債権買取、支払委託

債権買取は、お客さまが有するさまざまな債権をリース会社が買い取り、資金化する取引です。支払委託は、お客さまの支払債務をリース会社が立替払いし、その後リース会社へお支払いいただく取引です。

■ 不動産リース、入居保証金の流動化

不動産リースは、建設工事費、各種税金等の資金を「家賃」として、費用を長期平準化する取引で、不動産のオフバランスも可能です。入居保証金の流動化は、固定化された入居保証金を流動化することでお客さまの資金効率の向上に役立つ取引です。

■ 環境・エネルギー

環境・エネルギー関連の機械設備に係る、リース、割賦、貸付等の取引とあわせて、補助金などの情報提供、申請サポート等をご提供しています。

■ 国際関連

海外での機械設備導入や資金ニーズに対し、国内契約の海外設置、クロスボーダーリース・割賦、現地法人間の契約、外貨建て取引等を提供しています。

■ 遊休資産の買取

お客さまの遊休・不要となった各種中古設備の査定、買取を行っています。

生活とともにある興銀リースグループの事業

興銀リースグループは、2014年4月より3か年の第4次中期経営計画をスタートさせ、今後さらなる拡大が見込まれる内需型産業への取り組みを加速させています。景気回復に伴い消費が改善に向かうなか、当社グループは、成長戦略を推進する小売事業者さまの多様なニーズに幅広い金融サービスでお応えしています。

株式会社ツルハホールディングスさま

ドラッグストアチェーン運営の株式会社ツルハホールディングスさまは、地域に信頼される魅力あるお店づくりに努め、現在、全国で1,000店舗超を展開されています。また、地域医療の担い手として、超高齢化社会に対応するため、介護サービス事業も推進されています。

当社は、グループ会社の株式会社ツルハさまが全国で展開する「ツルハドラッグ」の新規出店にあたり、店舗設備のリース導入をお手伝いしています。



株式会社万代さま



近畿圏でスーパーマーケット「mandai」を展開する株式会社万代さまは、『地域の大型冷蔵庫』として、大阪を中心に、地域に根差した店舗づくりを着実に進める一方、時代の変化に対応し、お客さまにより高い満足を提供するため、商品開発や物流体制などの強化に注力されています。

当社は、スーパーマーケット「mandai」の店舗設備や惣菜製造設備のリース導入をお手伝いしています。

株式会社宮脇書店さま

全国で「宮脇書店」や「明林堂書店」を展開する株式会社宮脇書店さまは、『本を通じて地域社会の発展や、人々の心豊かな暮らしに貢献する』という創業時からの企業理念のもと、本の専門店として130年以上にわたり培われたノウハウを活かし、地域ニーズにあった出店を進められています。

当社は、「宮脇書店」の新規出店に際する店舗設備のリース導入のお手伝いのほか、直営全店で実施された店舗照明のLED化にあたり、当社がご提案したファイナンススキームを採用いただきました。



電子マネーマーケット拡大への対応

電車やバスのみならず、スーパーやコンビニエンスストア、飲食店、飲料自動販売機、駐車場/駐輪場などで全国的に見かける電子マネー決済。当社グループ会社のIBJL東芝リース株式会社では、電子マネー決済を導入されるお客さまに対して、関連機器のリースのみならず、加盟店契約、ご利用開始後の決済代金のお支払いにいたるまで、ワンストップでのソリューションをご提供しています。

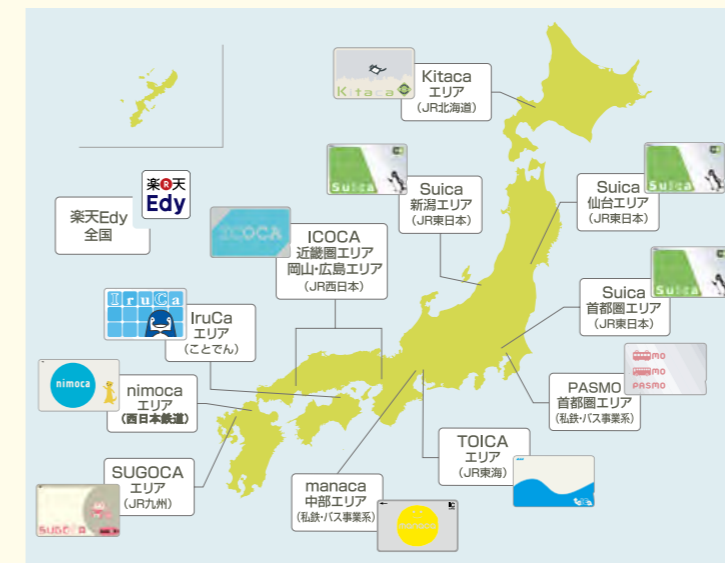
同社では昨今、上記シーンに加え、多目的スタジアムやミュージアム、職域等の食堂や売店、またマンション管理窓口などでの小口現金支払いなどにもご提供しており、商業シーンのみならず生活インフラの整備に一役買っています。



※記載のマーク・商品名は各社の登録商標です。

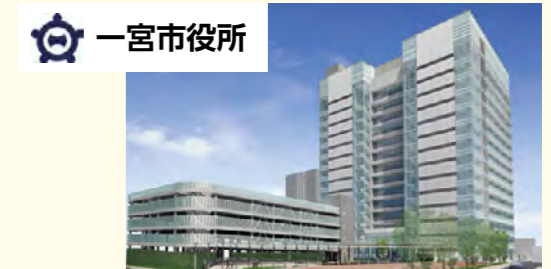
全国の電子マネー事業者と提携

全国の電子マネー事業者と加盟店募集で提携しているため、店舗の全国展開を検討されるチェーン店さまや複数の電子マネー契約をご希望されるお客さまにもスムーズな導入をサポートしています。



電子マネーを導入されたお客さまの声

一宮市役所さま



食堂自動精算システムによりレジの無人化とキャッシュレス化を実現

一宮市役所さまは、庁舎建て替えに伴い、一般市民も利用可能な食堂を設置されました。この食堂は食堂運営事業者によって、TOICA電子マネー決済とオートレジを使った精算システムが導入され、食器に付属したICタグを読み取り電子マネーで決済することで、レジの無人化とキャッシュレス化が可能となりました。混雑時にもスピーディーに精算でき、職員や市民から「レジ待ち時間が解消された」と大変好評です。

株式会社横浜スタジアムさま



電子マネー決済導入でスタジアムの観戦がより便利になりました

株式会社横浜スタジアムさまが運営する横浜スタジアムでは、その立地柄、電車を利用する来場者も多いことから、お客さまの利便性を考え、かねてより交通系電子マネーの提供を検討されていました。今回の導入により売店やキャラクターショップ等での電子マネー利用が可能となり、待ち時間の大幅な短縮が期待されるなど、よりスムーズに楽しくゲームを観戦いただける環境となりました。

医療・介護分野への取り組み

超高齢化社会の進行や医療制度改革など、医療・介護分野への取り組みは、社会においてますますその重要性が増しており、政府の成長戦略においても重点分野として掲げられています。

興銀リースグループは、医療機器のメンテナンスリースや不動産のリースなど、医療・介護関係者の皆さまのさまざまなニーズに対し、最適なソリューションをご提供しています。

補助金を活用したリースによる燃料電池の導入

当社は、千葉県市原市で五井病院を運営する医療法人 芙蓉会さまが、新病棟に燃料電池を設置するにあたり、リースのご提供とあわせ「分散型電源導入促進事業費補助金^{*}」の申請をサポートいたしました。

医療法人 芙蓉会さまは、地域医療の中核病院として、災害時などでも安定した医療を提供することを第一に、医師や職員が一体となったチーム医療を提供するとともに、LED照明やガス空調を導入するなど環境に配慮した病院運営を積極的に推進されています。

^{*} 省エネルギーや電力需給の安定化等を図ることを目的に「分散型電源」を導入する事業者に対し交付する補助金制度。



五井病院新館。本館同様、災害に対しても安心な免震構造を採用しています。



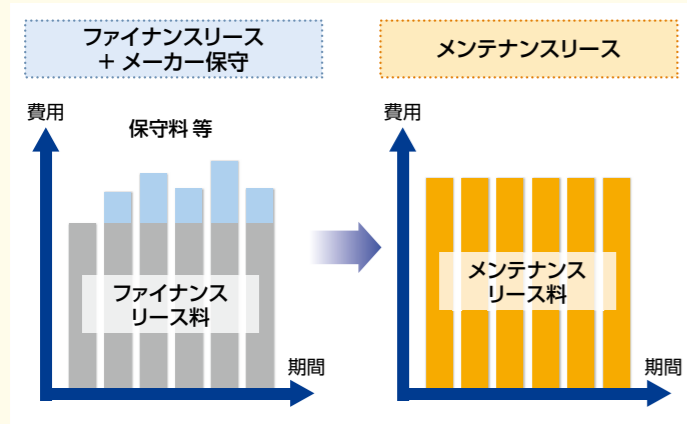
導入した燃料電池により、災害時にも安定した電力供給が可能となりました。

メンテナンスリースを活用した先端医療機器の導入

当社は、公益財団法人 柏市医療公社さまが運営する柏市立柏病院がシーメンス社製 MRI (Magnetic Resonance Imaging：磁気共鳴画像診断装置) を導入されるにあたり、メンテナンスリースをご提案し、採用いただきました。

当社が提案するメンテナンスリースは、シーメンスグループが提供するメンテナンスサービス料をあらかじめリース料に含め、毎月の支払額を均一化する商品です。これにより、お客さまは突然の出費がなくなり、キャッシュフローを安定させることが可能となります。

公益財団法人 柏市医療公社さまは、『高度で安全な診療技術。思いやりのこもった丁寧な診療』を基本方針に、適宜メンテナンスを実施することで医療機器を常にベストな状態に保たれています。また、医師の診療はもとより、職員全員が高い意識を持つことで、病院運営に係る全ての面で標準レベル以上のサービスを常に提供できる体制を構築されています。



医師や診療放射線技師、看護師が密な連携を図り診療業務を行っています。

医療機器の廃棄・売却の適正処理の推進

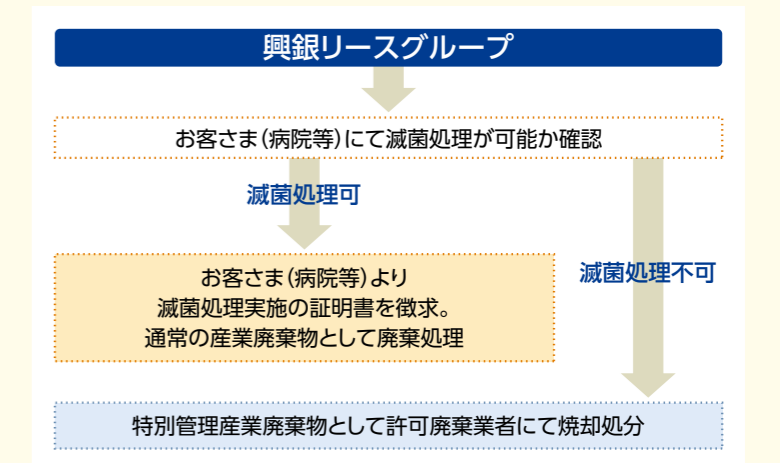
当社グループは、医療機器の廃棄・売却にあたり、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や「薬事法^{*}」に基づく適正な処分を行っています。

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)に基づく『感染性廃棄物』の廃棄処理

医療機器における『感染性廃棄物』とは、血液・血清等が付着している、またはこれらの恐れがある廃棄物のことを言い、透析装置、輸液ポンプ、手術台などが対象となります。

『感染性廃棄物』は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(廃掃法)に基づく『特別管理産業廃棄物』の廃棄処理が必要となります。

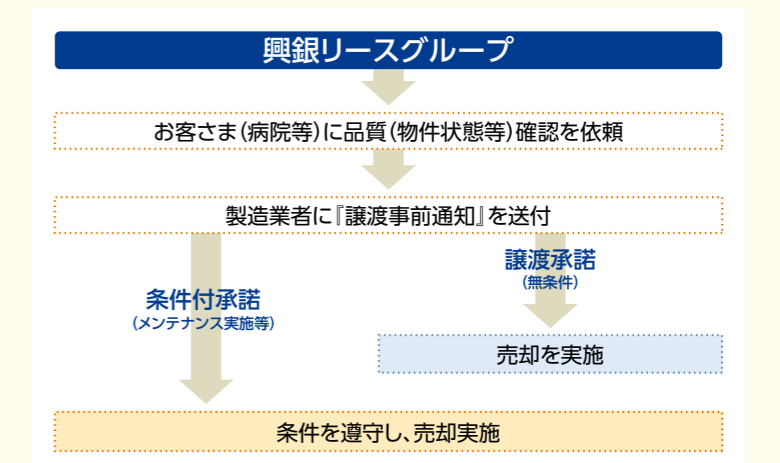
感染性廃棄物の廃棄手順



「薬事法^{*}」に基づく『中古医療機器』の売却処理

当社グループは、「薬事法^{*}」に基づき、医療機器の品質及び安全性の確保を徹底するため、リース契約期間満了または解約により、お客さまより返還されたリース物件=医療機器を売買する際、製造業者(メーカー)に対して事前通知を行い、承諾を得た後に物件を売却しています。

中古医療機器の売却手順



^{*} 記載内容は2014年9月末現在のものです。

中古医療機器転売紹介サービス

当社は、お客さまの不要となった画像診断装置などの医療機器について、下取り仮査定や転売先を紹介するサービスを展開しています。

当社が有する中古医療機器商社とのネットワークを活用し、「機器の転売ルートがない」、「廃棄コストがかかる」、などといったお客さまの課題解決をサポートします。

当社は、医療機器導入時のファイナンスと遊休設備の転売仲介をワンストップで提供することで、医療分野における循環型社会の形成を推進しています。

環境・エネルギー分野への取り組み

興銀リースグループは、環境・エネルギーに関する社会的取り組みを推進するため、興銀リースに「環境営業推進室」を設置し、お客さまの発電設備をはじめ環境・エネルギー関連の設備導入に際しては、リース等のファイナンスに加え、関連の補助金制度をご利用いただけるよう、ノウハウ、申請等のサポートを含めた商品・サービスをご提供しています。

実証研究事業用設備のリース提供

株式会社東芝さまは、環境省が公募した「地球温暖化対策技術開発・実証研究事業*」において、東京都港区におけるEVバス（電気バス）運行及び電池再利用に関する実証研究の委託先として選定され、興銀リースのグループ会社であるIBJL東芝リースは、この実証研究事業用の設備をリースでご提供いたしました。

従来、一般的に停留所の間隔が短く頻繁な停発車を必要とするコミュニティバスのEV化は、高頻度の急速充電によりリチウム電池の寿命が著しく短くなってしまいう課題を抱えていましたが、株式会社東芝さまの新型二次電池「SCiB™」はこれまでにない急速充電と長寿命性能を可能としています。さらに、出力が低下した電池を再利用する仕組みを構築することで、EVバス導入における廃電池問題にも対応されています。



EVバスは、慢性的に交通混雑が発生する地域などに導入することで低炭素社会を身近に実現することができます。

株式会社東芝さまは、今回の実証研究を通じ、バスのEV化や電池の再利用に関する技術開発を加速させ、環境負荷の少ない都市交通のソリューション事業を国内外で推進されています。

* 早期に実用化が必要かつ可能なCO₂削減技術の開発及び開発成果の社会還元を加速し、グリーンイノベーションを推進するための実証研究を通じて、地球温暖化対策を推進することを目的とした開発等資金です。

リースと補助金を活用し環境物流をサポート

当社は、丸協運輸株式会社さまが事業用車両を導入されるにあたり、リースのご提供とあわせ、新長期規制適合車導入助成金*の申請手続きをサポートいたしました。


丸協運輸株式会社さまは、近年厳格化している車両の排出ガス規制に対応するため、環境物流（低公害車の導入、エコ運転など）を積極的に推進されています。

当社はリースをはじめとするファイナンスサービスに加え、各種環境対応車向け助成金の申請サポートなどを行うなど、さまざまなサービスのご提供を通じ、お客さまの事業展開をお手伝いしています。

* 環境対策の更なる推進を目的に、一定の環境基準をクリアした車両を導入する事業者に対し、各都道府県のトラック協会が実施している助成金。



丸協運輸さまは、低公害車の導入をはじめ、環境に配慮した物流サービスの取り組みに注力されています。



丸協運輸株式会社
管理部 部長 **大南 和隆 様**

この度の補助金申請はリース会社との共同申請であり、短期間での手続きが必要となるため、従来から取引関係にある興銀リースにご相談しました。ファイナンスと補助金申請の両面で迅速に対応いただいたことでスムーズな導入が実現でき、感謝しております。

太陽光発電設備導入に伴うファイナンス提供

株式会社シグマパワー太陽光さまは、株式会社東芝さまが保有する太陽光発電に関する技術・システムを用いて、太陽光発電事業への参入を目的に設立された事業運営会社です。

株式会社シグマパワー太陽光さまにおかれましては、株式会社東芝さまの横浜事業所内に発電出力約1.5MWのメガソーラー発電設備を設置し、事業を開始されました。

当該発電設備の年間の想定発電量は、200万kWhで一般家庭約550世帯分の年間使用電力量に相当します。設備機器に高品質の太陽光パネルや高効率のパワーコンディショナーを採用するなど、東芝グループの持つ技術力を活かして発電出力の最大化を図っています。

株式会社シグマパワー太陽光さまは、当該設備導入にあたり、IBJL東芝リースが提案したオペレーティングリースを採用されました。



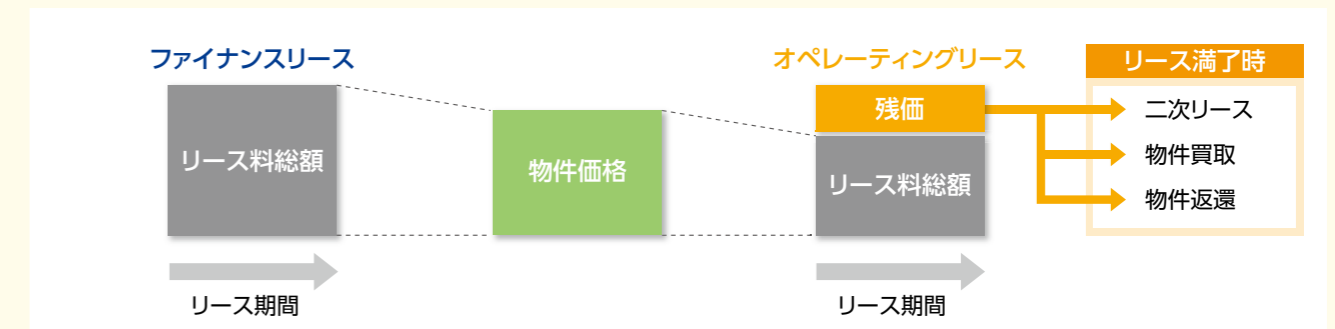
株式会社シグマパワー太陽光
代表取締役社長 **小平 政宣 様**



今回契約したオペレーティングリースは、リース満了時の市場価格を想定し、物件価格から控除した金額をベースにリース料が設定されるため、リース料総額を抑えることができました。

借主の資産計上が必要ない（オフバランス）との提案内容も魅力で、イニシャルコストの抑制と併せ、設備導入を迅速に進められたので、大変感謝しています。

オペレーティングリースの特徴



ファイナンスリース		オペレーティングリース	
法定耐用年数に基づくリース期間	期間	経済耐用年数の75%未満	
動産全般（設備・機械・装置等）	対象物件	中古市場性のある動産（設備・機械・装置等）	
概ね物件価格の110~120%程度	リース料総額	概ね物件価格の90%未満	
原則売買処理（オンバランス取引）	会計基準	賃貸借処理（オフバランス取引）	
減価償却費として全額損金処理可能	税務処理	支払リース料として全額損金処理可能	

社会に貢献するさまざまな事業

航空機 [投資商品・航空機営業部]

世界的な航空需要の広がりに伴い、エアライン及び航空機自体に関するさまざまなファイナンスニーズが増えています。

当社は、日本型オペレーティングリース（投資家からの出資と損益分配）、航空機担保ローン、エンジン担保ファイナンスなどのご提供を通じ、拡大する航空需要にお応えしています。



船舶 [船舶営業部]

世界の海上輸送量は今後も安定した伸びが予想されており、当社は輸送需要及び環境対応のため船隊整備を行う海運会社さま、船舶所有者である船主さまのさまざまなニーズにお応えすることで、世界の海上物流に貢献しています。

貨物船の価格や海運市況はアップダウンの波が激しいため、当社は船舶ファイナンスにおける長い経験・知見・ネットワーク等を活かしながら多数のリスクファクターを考慮し案件を組成しています。



社会に貢献するさまざまな事業

バス・トラック [自動車営業部]

国内の旅客、貨物の旺盛な移動を支えるトラックやバスは、各種環境規制への対応、安全運行の確保、また経費・環境両面での省燃費等、最新の車両の導入ニーズが伸びています。

当社は、車両に係るファイナンスと同時に、各種補助金の手続きに至るまで、お客さまの幅広いニーズにお応えしています。



建設機械 [建機営業部]

高速道路等インフラの更新や強化に、2020年に開催が決定した東京オリンピック効果なども相まって、建設機械のニーズは近年ますます高まっています。

当社は、建設機械のメーカー、販売会社、レンタル会社、建設会社の皆さまとの強固な連携や知見に基づき、さまざまなファイナンスメニューをご提供することで、わたしたちの暮らしの基盤整備に貢献しています。



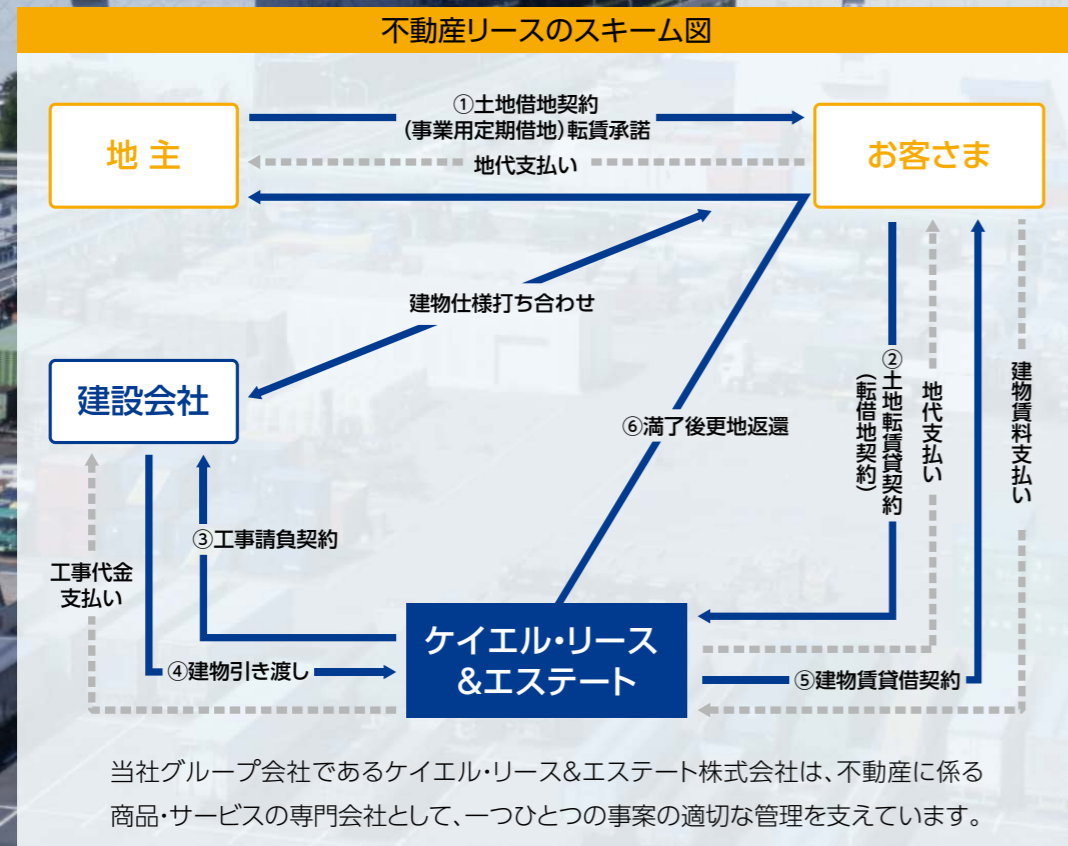
社会に貢献するさまざまな事業

不動産 不動産営業部 ケイエル・リース&エステート株式会社

2020年の東京オリンピック開催に向けて躍動する日本の不動産マーケット。

オフィスビルや商業施設、物流施設に加え、超高齢化社会に向けた医療・介護関連施設の充実など、不動産に係るファイナンスニーズが高まっています。

当社は、不動産の利用者となるお客さまをはじめ、地主さま、建設会社さま等幅広い関係者の多様なニーズにお応えするため、豊富な経験と高い専門性を用いて、不動産ファイナンスや不動産リース等さまざまなスキームをご提供することで、より良い社会づくりに貢献しています。



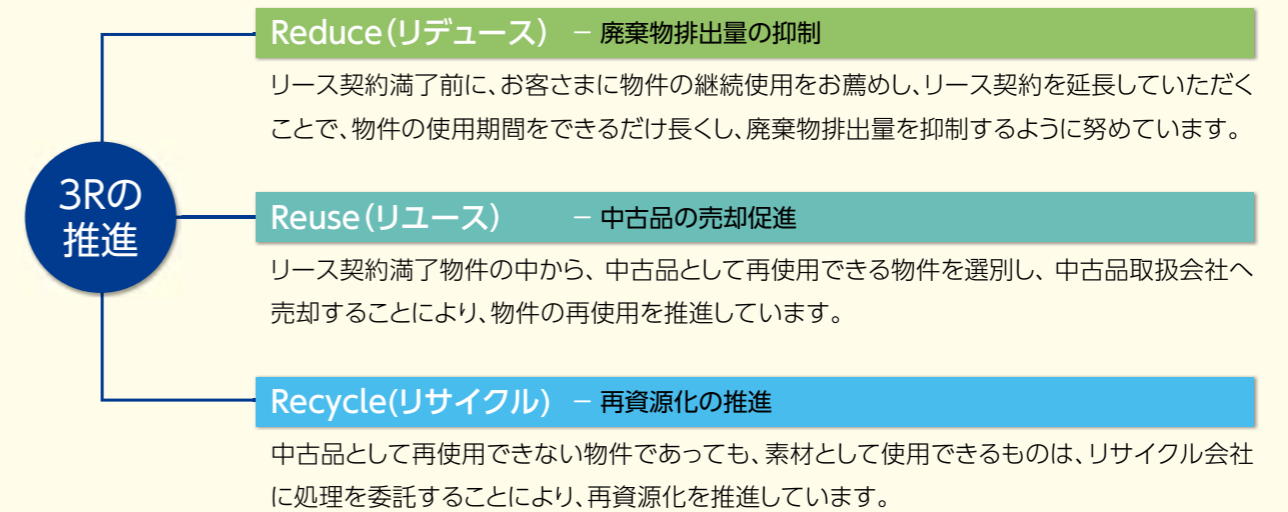
循環型社会への取り組み

リース事業は、再リースやリース終了物件の処理を通じ、3R (Reduce・Reuse・Recycle) を実践し、循環型社会の形成、産業廃棄物の適正処理に大きく貢献しています。

リース満了物件の適正処理を通じた3Rの推進

リース取引では、リース会社の「所有」する物件をお客さまが「使用」されていることから、リース契約満了後、物件はリース会社に返却され、リース会社が廃棄、売却等の物件処分を行っています。

興銀リースでは、満了処理業務を「資産営業部」に集約し、廃棄物処理法等の環境法令に則したリース物件の適正処理に加え、3Rの推進に努めています。



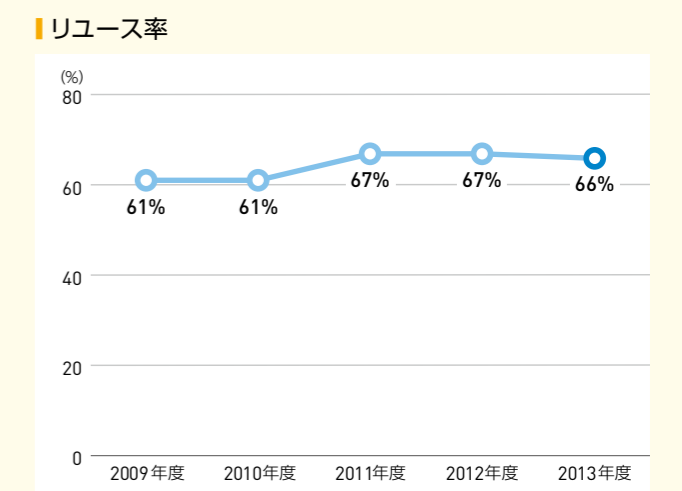
産業廃棄物処理会社の選定及び定期調査

当社は、リース契約満了物件の処理を委託する産業廃棄物処理会社を選定する際、必ず現場に赴き、当社独自の評価基準に基づき、「処理方法」、「保有設備」、「リサイクル実績率」などのさまざまな項目を調査、評価のうえ、適法処理はもとより、特にリサイクル意識が高い会社を選定し、満了処理を委託しています。

また委託先の産業廃棄物処理会社に対しては、毎年、現地調査とともに選定時と同等の再評価を行い、委託の継続可否を判断しています。



現地調査先の産業廃棄物処理会社



※リユース率は…売却件数/リース・再リース終了件数

海外での事業展開

近年、アジア地域は、日本企業にとって、生産拠点としてだけでなく新たな消費地としてもますますその重要性を増しています。興銀リースグループは、お客さまの海外進出をサポートするため、アジア地域における営業体制を強化しており、海外現地法人間の取引、国境を越えたクロスボーダー取引や外貨建て取引など、お客さまのさまざまなニーズに対し最適なファイナンスサービスをご提供しています。



Krung Thai IBJ Leasing Co., Ltd.

タイ (バンコク)

Krung Thai IBJ Leasing Co., Ltd. (KTIBJ) は、1992年2月に現地の政府系大手銀行であるクルンタイ銀行との合併で設立されました。タイはアジアの中でも早くから自動車部品産業を中心とした日系企業が進出しており、KTIBJは、こうした日系企業及び現地企業との多くの取引実績を有しています。豊富な経験と蓄積されたノウハウを活かし、お客さまのタイにおける事業活動を全力でサポートしてまいります。



興銀融資租賃 (中国) 有限公司

中国 (上海、広州)

興銀融資租賃 (中国) 有限公司 (IBJL-CN) は、2008年7月に興銀リースの100%出資子会社として設立されました。設立以降、業容拡大に伴い人員を強化し、現在では日本人スタッフ6名、現地スタッフ35名を擁する規模となりました。IBJL-CNは、今後も従業員一丸となってお客さまの中国におけるファイナンスニーズにお応えしてまいります。



Japan-PNB Leasing and Finance Corporation

フィリピン (マニラ)

Japan-PNB Leasing and Finance Corporation (J-PNB) は、現地有力銀行であるPhilippine National Bank (PNB) との合併リース会社であり、パートナー企業のPNBは、2016年に創業100周年を迎えるフィリピンを代表する銀行です。J-PNBは、フィリピンに進出する日系企業向けのファイナンスに加え、好調なフィリピン経済を背景に、PNBと連携し日系企業の同国における販売活動をサポートするためのベンダーファイナンス (販売金融) にも注力しています。



アジアデスク



PT. IBJ VERENA FINANCE

インドネシア (ジャカルタ)

PT. IBJ VERENA FINANCE (IBJV) は、現地資本のファイナンス会社である PT. VERENA MULTI FINANCE TBKとの合併会社で、日系企業を中心にさまざまな設備投資ニーズに対応しています。インドネシアは、現在、約1,700社の日系企業が進出し、その業種も多岐にわたります。IBJVは、経験豊富なナショナルスタッフとのチームワークでお客さまのニーズにお応えし、インドネシアのさらなる発展に貢献していきます。



アジアデスク



これまで日系企業進出が活発に行われてきた中国やタイにおける政情不安・人件費高騰等への対策から“チャイナ・プラス・ワン”、“タイ・プラス・ワン”という言葉が毎日目にするようになってきました。また2015年にはアセアン経済共同体 (AEC) の創設が予定されており、アジア諸国を個別の国ごとにとらえるだけでなく、“地域”として認識することの重要性が増しています。

アジアデスクは興銀リースの国内外拠点と連携しながら、アジア地域を包括的にカバーすることでアジアにおけるお客さまのさまざまなファイナンスニーズにお応えしてまいります。

アジアデスク 首席 伊藤 敏秋



海外での事業展開

中国 — 興銀融資租賃(中国)有限公司 —

富士電機株式会社さまと中国の冷凍機メーカーとの合併会社である大連富士冰山自動販売機有限公司さまは、中国における自動販売機製造・販売でトップシェアを誇っており、興銀融資租賃(中国)有限公司 (IBJL-CN) は大連富士冰山自動販売機有限公司さまと協働し、自動販売機を導入されるお客さまのファイナンスニーズに応え、大連富士冰山自動販売機有限公司さまの製品販売を促進するツールとして、リースを提供しております。

中国における最大手の自動販売機管理・運営会社(オペレーター)である上海米源飲料有限公司さまは、IBJL-CNが提供するリースを活用し、大連富士冰山自動販売機有限公司さまから自動販売機を導入されました。

富士電機株式会社さまは、中国における自動販売機市場の成長性にいち早く着目しマーケットの開拓を進め、現在では、他のアジア地域にまで製造・販売拠点を拡大しています。そして、業界のリーディングカンパニーとして、環境対応機など、地球環境に配慮した製品の開発にも注力されています。



大連富士冰山自動販売機有限公司
副総経理 米津 文二郎 様

中国国内における自動販売機の需要は、近年、若年層を中心に高まっており、今後も一層の拡大が見込まれております。

当社が中国市場における自動販売機のシェア拡大を推進する中、販売促進ツールのひとつとしてリースを提供していただいております。



上海米源飲料有限公司
董事長 陳志峰 様(写真左) / 董事 柿本良 様(写真右)

日本では自動販売機の運営は飲料メーカーが主体となって行われておりますが、中国では専門のオペレーターがロケーション、販売品目等を決定するなど、重要な役割を担います。

まとまった台数の自動販売機導入は投資金額も高額となるため、資金調達的手段としてリースを積極的に活用させていただいております。

インドネシア — PT. IBJ VERENA FINANCE —

インドネシアは国際協力銀行が行った2013年の海外直接投資アンケートにおいて中期的に最も有望な投資対象国として選出されており、自動車産業から食品・小売事業まで幅広い業種の日系企業が進出しています。

当社のインドネシア現地法人であるPT. IBJ VERENA FINANCE (IBJV) は現地進出している日系企業のファイナンスニーズにお応えするため、経験豊富な現地スタッフと協力し、お客さまのファイナンスサポートを行っています。

TOPICS

当社の海外現地法人は、在籍する多くのナショナルスタッフの文化・習慣を尊重し、相互信頼を基盤とした事業活動を展開しています。

IBJVでは、国民の大多数を占めるイスラム教の「断食」に敬意を払い、全スタッフで断食明けをお祝いする食事会を行いました。IBJVのスタッフは、こうした業務外での交流を通じお互いの理解を深め、強固なチームワークを築いています。



フィリピン — Japan-PNB Leasing and Finance Corporation —

プラスチック製精密工業部品製造メーカーの三光合成株式会社さまは、好調な受注を背景に、情報・通信機器向けの製造拠点としてSANKO GOSEI PHILIPPINES, INC.さまを設立され、工場立ち上げ時の製造設備や車両の導入にあたり、Japan-PNB Leasing and Finance Corporation (J-PNB) のリースを活用されました。

三光合成株式会社さまは、長年にわたり積み上げた金型技術のもと、取引先の多様なニーズにお応えするとともに、エネルギー消費を抑えた量産の技術開発も進められています。また、取引先のグローバル化をサポートできる体制を整え、現在、英国、中国、マレーシア、シンガポール、タイ他世界各地で生産・販売拠点を展開されています。



SANKO GOSEI PHILIPPINES, INC. 工場外観

TOPICS

2013年11月、超大型の台風ヨランダがフィリピンに上陸・横断し、暴風雨により発生した洪水や高潮などは、広範囲にわたり甚大な被害をもたらしました。

J-PNBでは、被害にあわれた地域の一日も早い復旧を願い、復興支援としてフィリピン赤十字社に義援金を寄付しました。



タイ — Krung Thai IBJ Leasing Co., Ltd. —

1985年に創立された私立大学のランシット大学さまは、技術革新スピードの速いIT機器の陳腐化に対して機動的に対応し、良質かつ高度なIT教育を促進するため、Krung Thai IBJ Leasing Co., Ltd. (KTIBJ) のリースを活用されました。

ランシット大学さまには、現在、約3万人の学生が在籍し、新入生徒数はバンコク圏でトップクラスを誇っています。また、学内環境のIT化に

早期から取り組み、タブレットPCの無償配付など、先進的な施策を推し進めることでタイにおける高等教育の一翼を担っています。



学内では、最新型タブレットPCの無償配付を大々的にPR。



ランシット大学
学長
Arthit Ourairat, Ph. D.

当大学は、教育革新の重要性を掲げ、e-learning等を活用したオンライン教育の普及を目的とする専任組織『Center of Innovative Learning』を創設するなど、IT教育の推進に注力しております。こうした取り組みを進める当大学に対し、導入する機器や目的にあわせて最適なファイナンスを提案していただき、KTIBJには大変感謝しております。IT教育のさらなる高度化を推進していくため、今後もKTIBJが提供する多様なファイナンスメニューを活用したいと考えております。

TOPICS

KTIBJでは、CSR活動の一環としてバンコク湾に注ぐチャオプラヤー川河口に近いバンプー自然保護区で、マングローブの植林を行いました。

KTIBJの従業員とその家族、総勢54名が植林した800本の苗木が成長し、生態系の保全に繋がることを祈っています。



グループ会社が提供するソリューション

興銀リースグループは、お客さまのさまざまなニーズに対し、グループ各社それぞれの顧客基盤や専門機能を最大限に発揮し、グループをあげて最適なソリューションをご提供しております。

東芝医用ファイナンス株式会社

東芝医用ファイナンス株式会社は、東芝メディカルシステムズ株式会社及びそのグループ会社との連携により、医療機関をはじめとするお客さまのCT、MRIなど先進機器の導入や、電子カルテ、医事会計システムなど医療IT化の取り組みに対して、メンテナンス付リースをはじめとするさまざまなファイナンスソリューションをご提供しています。

東芝医用ファイナンスは、機器メーカーとの連携と専門性の高いノウハウを活かし、お客さまのさまざまなニーズにお応えすることで、医療分野の更なる発展に貢献してまいります。



320列エリアディテクターCT
画像提供：東芝メディカルシステムズ株式会社

東芝医用ファイナンス株式会社 中部営業所 所長 岡 常長



当社は、医療機器専門リース会社として、理想的な病院づくりをサポートするべく、リース、割賦販売を中心にさまざまなファイナンスソリューションをご提供しております。

変化し続ける医療分野の環境、それに伴い変化するお客さまのニーズに対応するため、トップメーカーである東芝の医用技術と当社の多様なファイナンス商品でサポートしてまいります。

興銀オートリース株式会社

興銀オートリース株式会社は、車両に関するさまざまなニーズにお応えするリース会社で、お客さまが車両を導入する際の費用負担を平準化するほか、車両の手配から車検整備、保険・納税管理等の煩雑な業務を代行し、お客さまの「業務の合理化」をお手伝いしております。

同社は環境ISO14001の環境目標として「環境配慮型車両の取扱い実績の向上・車両メンテナンスリースの取扱い台数の向上」を掲げており、お客さまに対しエコカーリース促進キャンペーンや車両メンテナンスリースによる良質なメンテナンスサービスをご提供しております。

また、車両修理時の部品交換においてリビルト部品*の使用を促進しております。



提携整備工場の様子

興銀オートリース株式会社の主な環境目的と実績

環境目的	2013年度実績
環境配慮型車両の取扱い実績の向上	2012年度比 127%
車両メンテナンスリース取扱い台数の向上	2012年度比 113%

* 中古部品を完全に分解・洗浄し、消耗品及び不良部分を交換したリサイクル部品。中古部品の使用できる資源を最大限に有効活用しており、3Rへの貢献につながります。

ケイエル商事株式会社

ケイエル商事株式会社は、当社グループ会社各社のリース物件の売却や処分豊富な経験とノウハウを活かし、お客さまの遊休資産の買い取り等、機械設備に関するお客さまのさまざまなニーズにお応えしております。

機械設備の現在価値や将来の中古価値査定、遊休資産の買い取り、工場閉鎖のサポート、中古機械の売却まで幅広く取り扱っており、機械設備等資産の有効活用を通じて3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進しております。

ケイエル商事では、お客さまの次のようなニーズにお応えしています。

- ① 遊休設備を売却したい
- ② 設備入れ替え時の旧物件を売却したい
- ③ 工場閉鎖、統合による費用を圧縮したい
- ④ 不要物件の売却可能性や売却見込額を知りたい
- ⑤ 設備を中古物件で導入したい

主な取扱物件

- 工作機械
- 印刷紙工機械
- 射出成形機
- 産業機械
- 食品機械
- 検査機器
- 建設機械
- 木工機械
- 発電機
- 車両(フォークリフト、特殊作業車等)
- その他生産設備



資産査定の様子

興銀リースグループの概要

※()内%数値は当社の出資比率 (2014年9月30日現在)

顧客基盤の拡大 ~事業会社・金融機関が有する商圏を活用~

IBJ東芝リース(株) (90%) 東芝グループ及び同社取引先が主たる顧客	第一リース(株) (90%) 第一生命取引先が主たる顧客	日産リース(株) (100%) 日産自動車グループ及び同社取引先が主たる顧客
東芝医用ファイナンス(株) (65%) 医療機器のベンダーファイナンス	ユニバーサルリース(株) (90%) 山九グループが主たる顧客	東日本リース(株) (95%) 東日本銀行取引先が主たる顧客
東邦リース(株) (28.3%) 東邦銀行取引先が主たる顧客	十八総合リース(株) (17.3%) 十八銀行取引先が主たる顧客	

専門機能・サービスの提供 ~リースの機能を補完しメニューを多様化~

興銀オートリース(株) (100%) オートリース	ケイエル・リース&エステート(株) (100%) 建物リース	ケイエル商事(株) (100%) 中古物件売買
ケイエル・インシュアランス(株) (100%) 生命保険募集・損害保険代理	ケイエル・オフィスサービス(株) (100%) 事務受託	

海外拠点 ~成長著しいアジアでの積極展開~

興銀融資租賃(中国)有限公司 (100%) 中国現地法人	PT. IBJ VERENA FINANCE (82.5%) インドネシア現地法人	Krung Thai IBJ Leasing Co., Ltd. (49%) タイ現地法人
Japan-PNB Leasing and Finance Corporation (10%) フィリピン現地法人		IBJ Leasing (UK) Limited (100%) 英国現地法人

ワーク・ライフ・バランス

社員一人ひとりが最大限に能力を発揮し、安心して仕事に取り組むための、働きやすい職場環境の整備と多様な働き方の実現に向け、「ワーク・ライフ・バランス」を推進しています。

出産・育児及び介護支援制度

興銀リースグループでは、仕事と育児の両立を支援するため、出産・育児等に関する各種制度を整備しています。

育児休業制度は、最長1年半の取得が可能で、復職した社員は、子女の小学校就学前まで就業時間の短縮勤務が可能です。

また、親族に介護が必要となった場合には、介護休業制度において、対象親族1人につき3カ月の介護休業の取得が可能です。

興銀オートリース株式会社 中島 裕美



本制度を利用する際、復帰後の仕事と育児の両立などいろいろと不安もありましたが、自然な形で復帰することができ、また職場の皆さんのご協力を得て働けていることに感謝しています。時短勤務のため、仕事を効率よく進めることを意識しメリハリをつけることで、子供との時間をより一層大切にすることができ、本制度を利用し良かったと思っています。

「次世代を担う子供の育成支援に積極的な企業」として認定を受けています。

当社は、2013年2月に東京労働局長より、次世代育成支援対策推進法に基づく「次世代の社会を担う子供の育成支援に積極的に取り組む企業」として2007年に続き2度目の認定を受け、「次世代認定マーク」を取得しています。



■ 出産・育児休業取得者

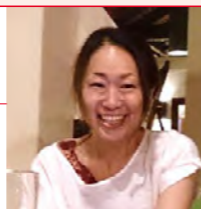
2011年度	2012年度	2013年度
7名	9名	10名

ジョブリターン制度

出産や育児、配偶者の転勤等の理由により、やむを得ず退職をした社員が職場復帰できるよう再雇用制度(ジョブリターン制度)を導入しています。慣れ親しんだ職場環境に戻ることで、身につけたスキルやノウハウを再び発揮し、活躍できる職場を提供しています。

制度導入から累計で13名の社員が復職し、本社や全国の支店で活躍しています。

ビジネスサポートセンター(神戸) 岩橋 正子



退職から3年のブランクがあり、期待に応える働きができるか不安でした。しかし、会社の雰囲気は以前と変わりなく、人も温かいのですぐに溶け込み、気持ちよく仕事に取り組むことができています。また、復職後は退職後に経験した異業種の経験や、スキルアップのため勉強した知識を活かし、仕事のクオリティを上げるよう努力しながら、新たな部署で多様な経験をすることができています。

リフレッシュ休暇制度

社員の心身のリフレッシュと自己啓発を目的として、勤続年数5年毎に5日間(土・日を含め9日間)の特別連続休暇が与えられるリフレッシュ休暇制度を導入しています。

定期的な自らを振り返り、心身ともにリフレッシュできる大切な時間とゆとりを持つことが社員の活力向上につながってくると当社は考えています。



仙台支店 佐藤 智樹

リフレッシュ休暇制度を利用して、妻と沖縄旅行に行きました。私も妻も沖縄は初めてだったので、日程的にも余裕をもって、北から南までレンタカーでの観光スポット巡り、また2人とも大好きな沖縄料理を十分に満喫することができました。日常とは異なる沖縄ならではの緩やかな時間を過ごせたことで、心身ともにリフレッシュでき、妻共々とても良い思い出になりました。

多様な人材の活用

当社グループは、多様な人材の活用に努めており、社員一人ひとりが新たな刺激を受けることで、組織の活性化につながっています。

新規学卒者採用・中途・障がい者採用

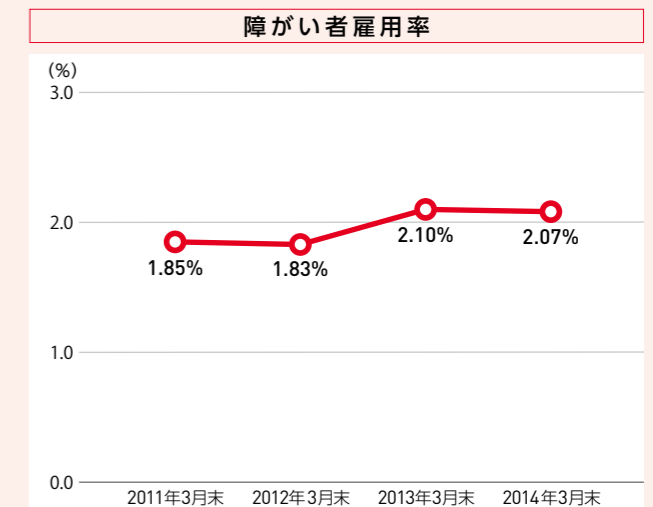
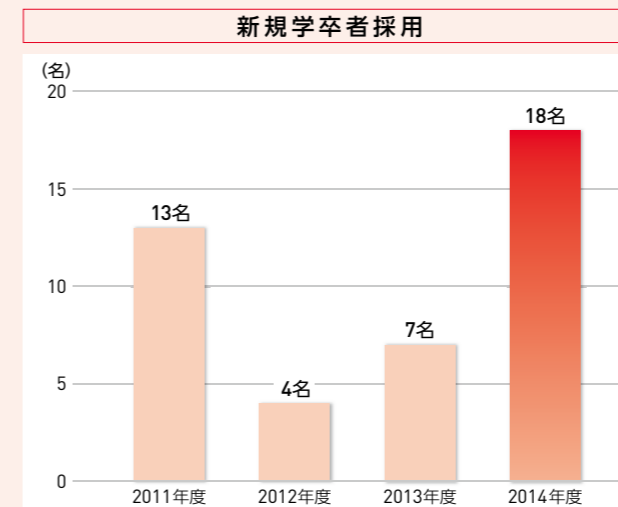
当社グループは、公平・公正な採用選考を基本方針とし、新規学卒者採用とともに、さまざまな経歴を有す人材の中途採用や障がい者の雇用促進など多様な人材の採用に努めています。

さまざまな個性をもった人材が能力を最大限に発揮し、「共に考え」、「共に行動」し、「共に成長」していくことが、当社グループの未来を支えていると考えています。



2014年度新入社員

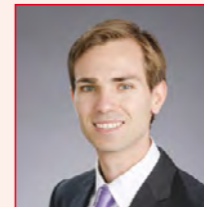
■ 興銀リースの実績データ



海外からの研修生の受け入れ

当社では、1988年から毎年1名の海外学生を研修生として受け入れています。これは、海外学生が当社国際部を中心にさまざまな部署において、営業案件の補助や契約書類・各種資料の作成などを行い、当社における一連の業務を1年間にわたり経験する制度です。

受け入れる研修生の国籍はさまざまですが、研修生と社員は業務を通じてだけでなく、業務を離れた場においても積極的にコミュニケーションを図り合い、お互いの文化・風習を理解し合うことのできる良い機会となっています。



国際部 ニコラス エリクソン (Nickolaus Erickson)

2008年に留学生として来日した際、日本人の勤勉で真面目な姿勢に感銘を受け、いつか日本で「日本文化」や「ビジネス」を経験したいと思っていました。興銀リースのインターンシッププログラムでは、日本の金融業界の経験を積み、また日本語能力を磨き成長したいと思います。これから1年間、興銀リースに貢献できることを楽しみにしています。

社員一人ひとりの成長のために

興銀リースグループは、当社グループの持続的な成長・発展において最も重要な経営資源である人材について、経営方針に「積極的な人材の育成・登用と自己研鑽を通じて、活力に満ち、働き甲斐のある会社風土の醸成」掲げ、人材育成プログラムの拡充や人事制度の整備に取り組んでいます。

人材育成プログラム

当社グループは、社員の成長レベルに応じた階層別研修及び自由選択型研修を含む実務スキル研修とともに、自己研鑽及び資格取得の奨励をサポートする通信教育制度等、きめこまかな研修制度を設けています。

研修体系図

	階層別研修		実務スキル研修	通信教育制度	その他
	総合職	一般職			
管理職層	外部経営セミナー				キャリアデザイン研修 Eラーニング 語学研修 自己啓発受講
	マネジメント研修		評価者研修		
	選抜型マネジメント研修		外部講習 営業スキル向上研修		
	マネジャー研修		自由選択型研修		
非管理職層	ヒューマンアセスメント研修	事務職リーダー研修	外部派遣 指導担当者研修		必修受講 (入社5年目)
	中堅担当研修	事務職研修			
	事務職研修				
	フォローアップ研修	フォローアップ研修			
	新人研修 (導入・OJT実務)	新人研修 (導入・OJT実務)	財務分析講習		

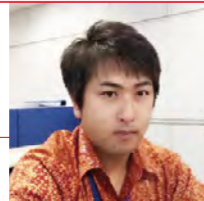


自由選択型研修のひとつ、「プレゼンテーション 見せるスキル」には多数の営業担当者が参加しました。

海外トレーニー制度

当社グループでは、実際に海外での仕事を体験することにより、現地でのリースビジネスのノウハウ取得やグローバルなコミュニケーション能力、豊かな国際感覚を身につけた人材を育成するため、当社現地法人等への1年間程度のトレーニー制度を導入し、社員を派遣しています。

PT. IBJ VERENA FINANCE
(インドネシア現地法人)
林 隆博



※職場はパティック推奨です。

約1年間の海外トレーニー期間を経て、正式に現地配属となりました。

日系現法の経営層への提案が主な業務となりますが、時にはお客さまの現地JVパートナー経営層への提案も行います。特に現地パートナーとの交渉は文化・商習慣の違いから難しい局面もありますが、海外での仕事の醍醐味の一つと感じています。

幅広い業種の日系企業が進出する中、多岐にわたるお客さまのファイナンスニーズに今後もお応えしていきたいと思っております。

語学研修

当社グループは、積極的に海外への事業展開を推進しており、そのためのグローバル人材の育成に向け、語学研修を実施しています。また、社内での自由参加型の語学研修として、就業前の時間を利用し、毎年インターンシップで入社する外国人社員を講師とした勉強会を実施しています。



女性活躍推進プロジェクトチーム『SAKURA』発足

当社では、女性社員の能力向上・キャリア開発への支援を行い、労働意欲を高めるとともに、活躍を後押しすることで職場の活性化を目指しています。

2014年10月に部署、担当業務、年齢がそれぞれ異なるメンバーで構成される、女性活躍推進プロジェクトチーム『SAKURA』を発足しました。同チームでは、定期的にミーティングを開催し、女性活躍のあるべき姿や当社の女性社員の現状の把握のため、「やりがいをもって働ける文化・環境づくり」、「女性の潜在能力を引き出し」、「キャリア志向性を高めていける土壌をどう作っていくか」など、積極的な意見交換を行っています。

今後、これらの意見を基に女性活躍推進策を策定し、経営へ提言し、全社員の労働意識に改革をもたらすべく発信していきます。



キャリアアップ制度

女性の活躍を推進する施策のひとつとして、一般職社員を対象にしたキャリアアップ制度を実施しています。

チーフアシスタント制度

一般職社員の指導的な役割を担う職階「チーフアシスタント」を設けています。

営業トライアル制度

一般職から総合職(営業)への職系転換制度です。営業職務を経験することにより、潜在的な能力を最大限に発揮し、新しいキャリアアップの道を自立的に形成していくことを支援しています。

情報機器営業部
山口 理紗子 (営業トライアル制度)



お客さまの「顔」が見え、直接関わることができる仕事にチャレンジしたいという思いから、営業トライアル制度を利用しました。お客さまを訪問した際の話題作りや社内事務など苦労することもあります。できる限り早いレスポンスを心掛け、お客さまとの接点を密に取ることで信頼関係を築けたときには、喜びとともに充実感も味わえます。また、営業トライアル制度によって、女性の活躍の場が広がると感じています。

ジョブ・ローテーション

当社グループでは、専門性と多様性をあわせ持つ人材育成のため、さまざまな職務を経験できるようジョブ・ローテーションを行っています。

これは、社員が異なる職務を経験することにより、自らが認識していなかった適性や能力に気づいてもらうこと、職務経験を通じて身につけた知識やスキルを新たな業務にも活かしてもらうことを目的としています。

また、社員の異動・配置にあたっては、各部署の要員希望だけでなく社員の自己申告* による希望も考慮するよう努めています。



投資商品・航空機営業部
早川 有紀

グループ会社からの異動でしたので、当初は不安もありましたが、業務システムは勿論、文化や仕事の進め方、責任などの違いを経験でき、仕事に対する視野が広がりました。現在は直接お客さまと接する機会は無くなりましたが、前職の経験を活かし営業担当者が気持ちよく働けるようなサポートを心掛けています。また、語学スキルを活かせる専門性の高い部署なのでさまざまな知識を深めていきたいと思っております。

*自己申告制度：毎年12月に社員が、異動希望、本人の健康状態、家族に関する事などを申告する制度。本制度は、今後のキャリア形成を踏まえた適材適所の人材配置を実現させるために活用しています。

環境・社会への取り組み

当社及びグループ会社9社を対象として環境に関する国際規格ISO14001の認証を取得しています。
国際規格ISO14001に基づく「環境マネジメントシステム」の内容は以下のとおりです。

環境方針：興銀リースグループの環境に対する基本方針

- ① 環境関連法令を遵守するとともに、企業としての社会的責任を常に認識し、環境保全活動について継続的改善を図ります。
- ② 環境保全に資する商品・サービスの開発及び提供を通じて、環境保全と経済発展の両立を図ります。
- ③ リース終了物件の適正管理はもとより、リサイクル及びリユースを推進し、循環型社会の構築に貢献します。
- ④ あらゆる事業活動において、環境の影響把握に努め、環境負荷の低減及び環境汚染の予防に努めます。

主な環境目的と環境目標

環境目的	—中期目標—	環境目標 —単年度目標—		
		2013年度設定内容	実績	2014年度設定内容
営業系	環境に配慮した物件への取り組みを増加	環境配慮型物件の取扱実績を2012年度比5%増加	2012年度比+40%	2013年度水準(特殊要因による実績を除く)を維持
	環境保全に資する新たな商品・サービスの具現化	全社的な環境営業の推進	提案資料作成勉強会実施等	全社的な環境営業の推進
満了、中古系	中古資産買取による3Rの推進	中古取扱高7.8億円	中古取扱高8.0億円	中古取扱高8.5億円
	循環型社会への持続的貢献	リユース率60%以上	66%	リユース率60%以上
	順法処理の徹底及びリサイクル業者の選定	産業廃棄物処理委託会社の定期調査全社実施	全社実施	産業廃棄物処理委託会社の定期調査全社実施
オフィス系	紙使用量の削減	2010～2012年度年間平均水準(1人あたり使用枚数)を維持	基準値(目標値)比1%削減	2010～2012年度年間平均水準(1人あたり使用枚数)を維持
	電気使用量の削減	2010～2012年度年間平均水準を維持	基準値(目標値)比7%削減	2010～2012年度年間平均水準を維持

※リユース率は…売却件数/リース・再リース終了件数

■ 環境マネジメントシステムの組織体制

当社グループは、「CSR統括責任者」のもと、「環境管理責任者」が環境活動全体の管理を担い、また当社「環境運用責任部」及びグループ各社の「環境運用責任者」が環境目標達成に向けた取り組みを推進することで、環境マネジメントシステム(PDCAサイクル)の確実な運用を確保しています。

興銀リースグループは、社会的課題である環境・エネルギーについて、リース等の事業を通じた取り組みとあわせて、わたしたちの事業活動自体に起因する環境負荷の低減に努めています。
また、当社グループでは、社員一人ひとりが自発的に参加できる社会貢献活動を推進しています。

オフィス用品のリサイクル促進

当社グループでは、購入するオフィス用品を統一し、在庫管理をグループ会社のケイエル・オフィスサービス株式会社に委託、集中管理することで、無駄な発注も減らし、リサイクル促進に貢献しています。

Column

当社グループでは、政府からの節電協力依頼に応えるべく、昨年度に引き続き今年度も下の節電施策を実施いたしました。

節電施策の例

- ノー残業デーの実施
- 蛍光灯の間引き
- 空調設定温度の管理

社会貢献活動への取り組み

■ ゴールドリボン運動の支援

ゴールドリボン運動とは、小児がんの子供たちを支えるために「認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク」が主催し展開されている運動です。小児がんは、日本では子供の病死原因の第1位となっていますが、大人のがんに比べ圧倒的に患者数が少ないため、その治療法や薬などの研究開発はなかなか進んでいないのが現状です。当社グループは売上金の一部をゴールドリボン運動支援に寄付することができる自動販売機を本社内に設置することにより、この運動を支援しています。



■ エコキャップ運動への参加

エコキャップ運動とは、一般のゴミとして焼却処分されると二酸化炭素(CO₂)の発生源になるペットボトルのキャップを、再資源化のため分別回収のうえリサイクル事業者へ売却することによって得た収益をもって発展途上国の子供たちに感染症のワクチンを届ける運動です。エコキャップ800個で1人分のワクチンが購入でき、約6kgのCO₂発生を抑制できます。

当社グループは、本社ビル及び支店内の各所にエコキャップ回収ボックスを設置し、エコキャップの回収に積極的に取り組んでいます。

年度	回収重量	個数(概算)	ワクチン数換算 ^{※1}	CO ₂ 換算 ^{※2}
2013年度	88.08kg	35,229個	44.0人分	277.47kg

※1 ポリオ(小児麻痺)ワクチンは、約800個(=20円相当)で1人分と換算

※2 CO₂は、回収重量1kgにつき3,150gにて換算

■ 公益財団法人日本対がん協会への寄付

「公益財団法人日本対がん協会」は、1958年に朝日新聞社創立80周年記念事業として、がんの撲滅を主旨に設立され、現在、「検診の推進」、「啓発」、「患者・治療者の支援」、を三本柱として活動しています。

当社は、同協会が推進するがん征圧運動を支援するため、2014年6月に寄付を行いました。こうした寄付金は、がん専門家の育成や啓発活動、患者・治療者のケアなどに活用されています。



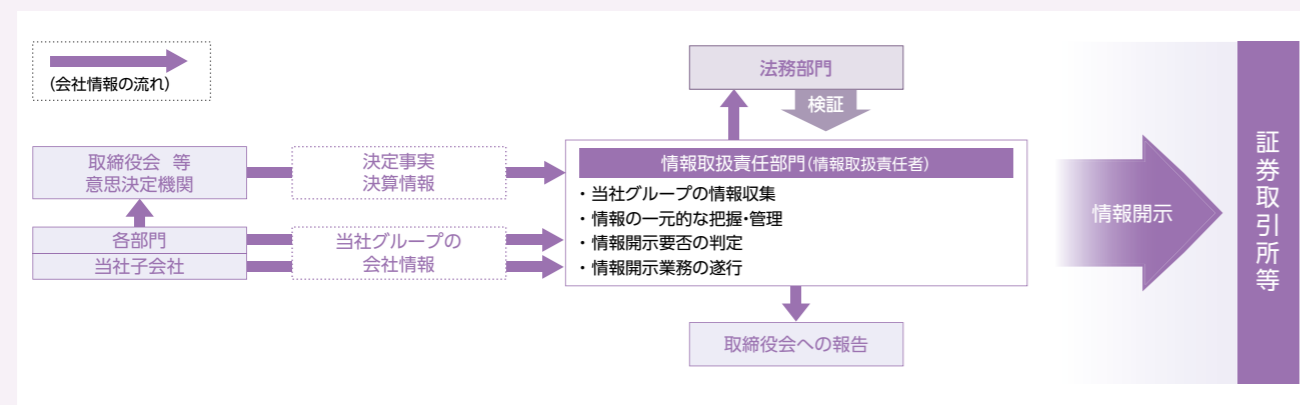
株主・投資家とのコミュニケーションについて

興銀リースグループは、企業活動の透明性を確保するため、広く情報公開に努め、公平かつ適時適切な情報開示及び株主・投資家の皆さまとの積極的なコミュニケーションを通じ、社会からの信頼を得るよう努めてまいります。

情報開示ポリシー

興銀リースは、株主をはじめとするステークホルダーの権利・利益を守るため、当社グループ連結ベースをもとに、広く情報公開に努め、適時適切で公平な情報開示により企業活動の透明性を確保するとともに、積極的かつ正確・迅速な情報開示を行う体制を整備し適正に運用いたします。

当社グループにおける情報開示体制の概要図



積極的なIR活動

当社は、公平かつ適時適切な情報開示を継続的に行うとともに、株主・投資家の皆さまとのコミュニケーションを充実させ、当社への理解を深め企業価値を適正に評価していただけるよう努めることをIR活動の基本としています。機関投資家・アナリスト向けの決算説明会や国内外の投資家の皆さまとの定期的な個別ミーティングのほか、個人投資家の皆さま向けの会社説明会も毎年実施しています。

2013年度IR活動実績

決算説明会	2回
個人投資家説明会	2回
機関投資家等との個別ミーティング	85回



個人投資家向け会社説明会

IRサイトの充実

当社は、ホームページのIRサイトに決算情報や格付情報のほかアナニュアルレポートや株主総会関連資料を掲載し、株主・投資家の皆さまに幅広い情報をお伝えするよう努めています。また、決算・財務に関する資料を英文のホームページにも掲載し、海外への情報発信にも努めています。

IRサイト <http://www.ibjl.co.jp/ir/>

IRサイト掲載の各種資料

- 決算短信(連結)
- 有価証券報告書、四半期報告書
- アニュアルレポート(和文・英文)
- 決算説明会資料(和文・英文)
- 株主総会招集通知
- 臨時報告書(議決権行使結果) 他

株主の皆さまとのコミュニケーション

株主総会

当社は、株主の皆さまが議案を十分にご審議いただけるよう早期に招集通知を発送し、またより多くの株主の皆さまにご出席いただけるよう集中日を避けて開催するなど、株主総会の活性化に取り組んでいます。

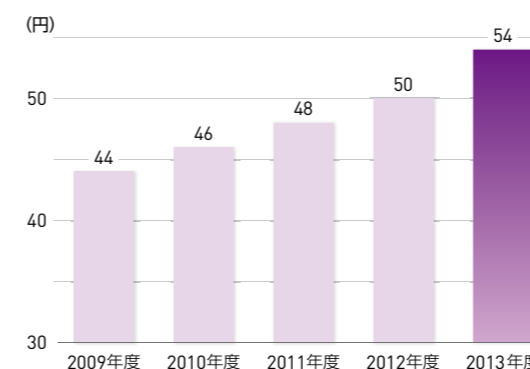


株主還元

配当政策

当社は、株主の皆さまへの利益還元と株主資本充実のバランスに十分留意し、業績に応じた配当を実施することを基本方針としています。

1株あたり年間配当金



株主優待制度

当社は、株主の皆さまからのご愛顧に感謝し、毎年3月31日を基準日とする株主優待制度を実施しています。

株主優待制度

	連続2期以上保有の場合*
1単元(100株)以上保有の株主さまに一律3,000円相当の図書カードを贈呈	1単元(100株)以上保有の株主さまに一律4,000円相当の図書カードを贈呈

*連続保有期間2期以上の確認は、基準日(毎年3月31日)の株主名簿に、前期末と同一株主番号で連続して記載された株主さまといたします。



オリジナル図書カード

株主アンケート

当社は、年2回(6・12月)、株主の皆さまへの『年次・中間報告書』にアンケートを添えて送付しています。このアンケートに対し、2014年は2,500名を超える株主の皆さまから事業やIR等に関する貴重なご意見・ご感想をいただいています。

当社は、今後も株主の皆さまからいただく貴重な声を経営に反映させていくことで、企業価値のさらなる向上に努めていきます。



『年次報告書』表紙



アンケートハガキ

コーポレート・ガバナンス／内部統制

興銀リースグループは、社会的存在である企業の責任と役割を継続的に果たすため、コーポレート・ガバナンス及び内部統制の適切な整備、運用に努めています。

コーポレート・ガバナンス

■ 基本的な考え方

当社グループは、企業価値を長期かつ継続的に向上していくうえで、株主と経営者の関係の規律づけを中心とした企業活動を律する枠組み、すなわちコーポレート・ガバナンスを有効に機能させることが必要不可欠であると考えています。

■ 取締役会及び執行役員

興銀リースの取締役会は、議事運営の活発化と意思決定の迅速化のため2014年9月現在8名で構成され、うち3名を独立性の高い社外取締役とし、客観的な視点による透明性の確保を図るとともに業務執行を兼務しない取締役会長が議長を務め、取締役会の監督機能と意思決定の適正を確保しています。

また、取締役会の決定に基づき、迅速かつ効率的に業務

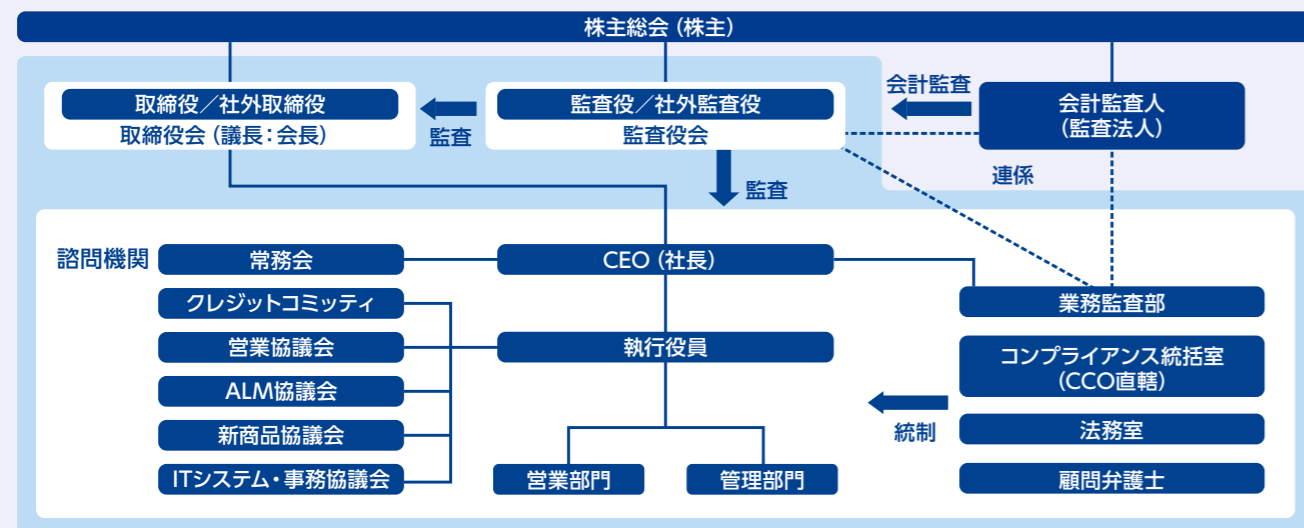
を執行するため執行役員制度を採用し、CEO以下に業務執行権限を委譲しています。各々の業務執行においては、決裁者を定め責任の明確化を図るとともに、決裁者の判断支援と相互牽制を確保するため、諮問機関を設置しています。

■ 監査役及び監査役会

当社は、監査役4名のうち3名を社外監査役とし、監査役(会)は取締役の忠実義務・善管注意義務等の法的義務の履行状況及び業務の適正な執行などを監視しています。

監査役は、取締役会及び常務会等の重要な会議に出席するほか、代表取締役と定期的に会合し監査上の重要課題について意見を交換しています。あわせて内部監査部門や会計監査人と緊密な関係を保ち、監査の効率と質の向上に努めています。

■ コーポレート・ガバナンス枠組図



内部統制

当社グループは、業務の適正な執行を確保するため、内部統制の強化に取り組んでいます。当社に、グループ全体の内部統制を統括する内部統制統括室を設置し、会社法に基づく内部統制(取締役の職務の執行が法令及び定款に適合するための体制その他会社の業務の適正を確保す

るための体制の整備)及び金融商品取引法に基づく内部統制(財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制の評価)に関し、体制の整備の充実と適切な運用に努めています。

コンプライアンス／リスクマネジメント

法令・諸規則を遵守し、社会的規範にもとることのない誠実かつ公正な企業活動を実践いたします。また事業活動に伴い発生するリスクの迅速、的確な管理に努めています。

コンプライアンス

当社グループは、コンプライアンスを徹底するため、「コンプライアンス統括責任者」のもと、コンプライアンスに係る具体的施策を実行する「コンプライアンス統括室」を設置し、右記の施策などによりコンプライアンス態勢の実効性を確保しています。

- 1 「興銀リースグループの企業行動規範」を定めるとともに、具体的手引書として「コンプライアンス・マニュアル」を制定し、遵守の徹底を図っています。
- 2 コンプライアンスの実践計画として毎年「コンプライアンス・プログラム」を策定し、それに則した教育・研修等を通じて、コンプライアンス態勢の浸透を図っています。
- 3 社長直轄の業務監査部が、内部監査の実施を通じて、コンプライアンスの状況を調査・検証し、その報告に基づいて、所要の措置をとる仕組みを構築しています。
- 4 社内通報制度として、コンプライアンス等に係わる相談・報告窓口を設置するとともに、「内部通報者保護規程」を定めています。

リスクマネジメント

当社グループは、事業活動の中で発生し、経営に重大な影響を及ぼす可能性のあるさまざまなリスクを迅速かつ的確に把握・分析し管理する体制を整備し、その種類ごとに、事前の予防策や発生時の対応策を定め、損失を最小

限にとどめる措置を講じています。特に、信用リスク、市場リスク及び価格変動リスクについては、「統合リスク管理」により定量的に把握し、自己資本の一定範囲内にリスクをコントロールする仕組みを導入しています。

信用リスク (貸倒や物件価値の低下等によるリスク)	「取引先信用格付制度」をベースに、案件審査のほか、金融庁の金融検査マニュアルに準じた厳格な資産査定を行い、所要な償却・引当を実施するなど信用リスクを適切に管理しています。
市場リスク (金利、株式等の変動によるリスク)	常に市場の動向を計測・分析し、ALM(資産・負債の総合管理)の手法により金利等の変動リスクを適切に管理しています。関係部の担当役員をメンバーとする「ALM協議会」において、月次でのALM運営方針や損失の限度などを決定しています。
価格変動リスク (オペレーティングリースの見積残存価額等の変動によるリスク)	各対象物件の中古マーケットの価格動向などを定期的にモニタリングし、将来見積価格の変動リスクを適切に管理しています。
事務リスク (事務の不適切な処理によるリスク)	社内イントラネット上で閲覧可能な各種事務マニュアルを整備するほか、IT統制や内部監査の実施などによりチェック体制を構築しています。また国際規格である品質マネジメントシステムISO9001の認証を全社的に取得し、事務品質の維持・向上を図っています。
システムリスク (ITシステムの障害等によるリスク)	「ITシステム運用管理規程」を定め、その信頼性・安全性を確保するとともに、障害発生時には、「ITシステム等の障害時における事務対策要綱」に基づき、適切な対応を行えるよう体制を整備しています。
災害リスク (自然災害、紛争等非常事態発生によるリスク)	非常事態の発生に際しては、自然災害に係わる場合は「災害対策要綱」、その他の災害に係わる場合は「緊急対策要綱」に基づいて、適切な対策を実施することにより、人命及び施設などの安全並びに営業の維持を図れるよう備えています。

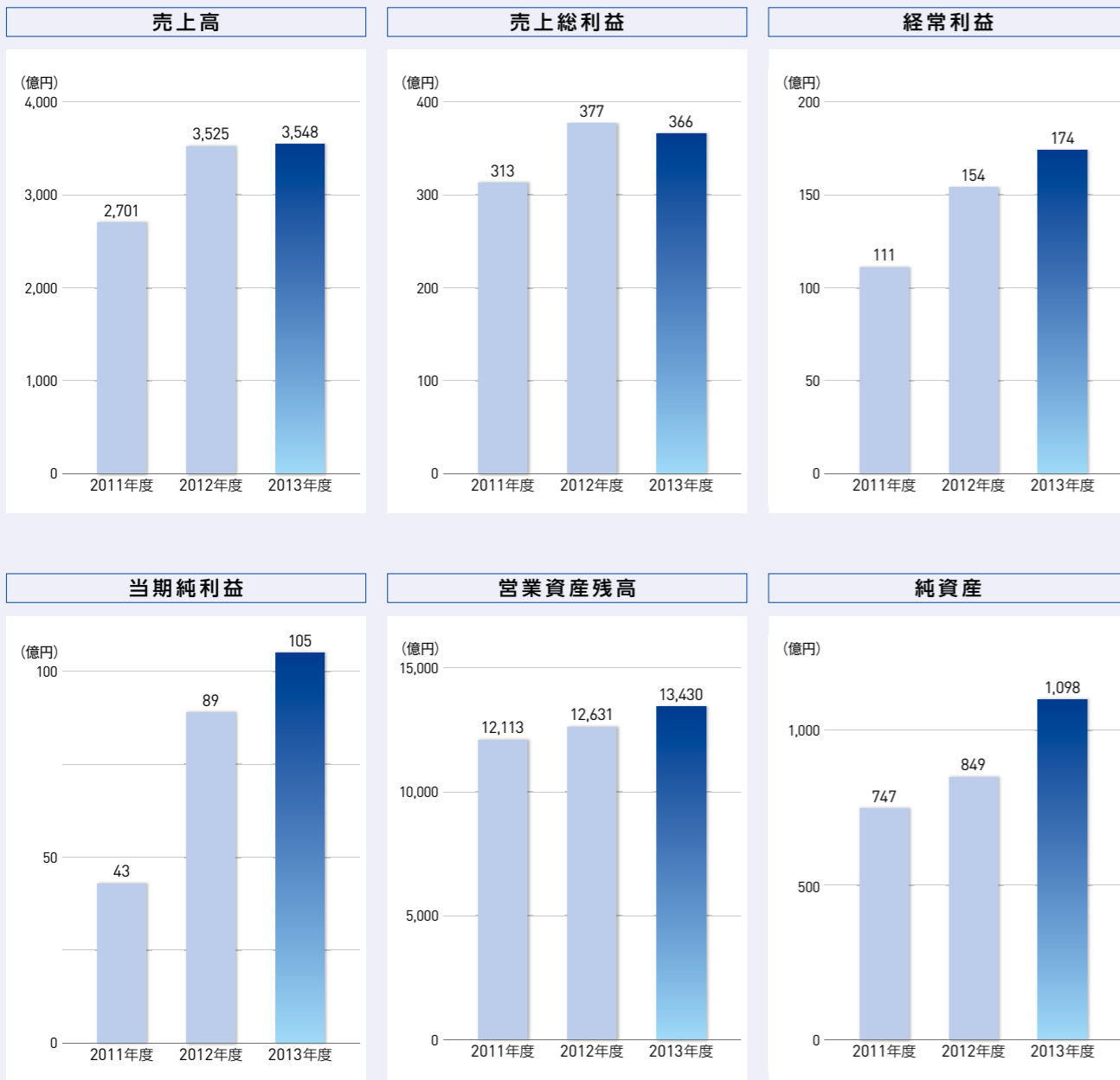
興銀リースグループの概要

興銀リース株式会社

■ 会社情報 (2014年3月末現在)

商号：興銀リース株式会社
 本社所在地：〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目2番6号
 設立：1969年12月1日
 資本金：178億7,419万円
 従業員数：連結1,036名 単体525名
 事業内容：総合金融サービス

連結財務諸表



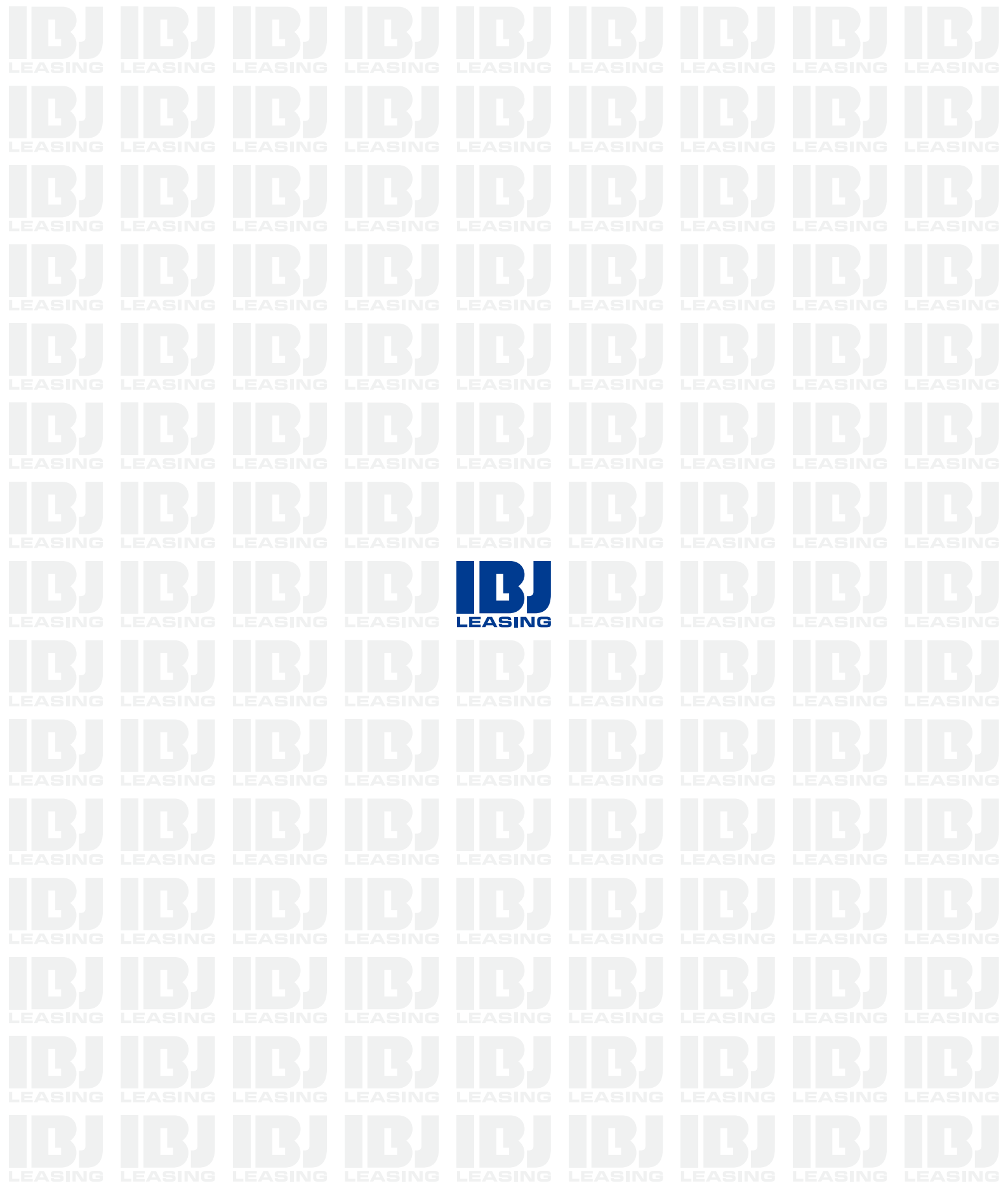
支店一覧

札幌支店	〒060-0001	札幌市中央区北一条西5-2	TEL. 011-231-1341
仙台支店	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-4-1	TEL. 022-223-2611
大宮支店	〒330-0802	さいたま市大宮区宮町2-96-1	TEL. 048-631-0751
新潟支店	〒951-8061	新潟市中央区西堀通六番町866	TEL. 025-229-7800
富山支店	〒930-0004	富山市桜橋通り5-13	TEL. 076-444-1080
静岡支店	〒420-0857	静岡市葵区御幸町5-9	TEL. 054-205-3330
名古屋支店	〒460-0003	名古屋市中区錦1-11-11	TEL. 052-203-5891
京都支店	〒604-8152	京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町659	TEL. 075-223-1545
大阪営業部	〒541-0043	大阪市中央区高麗橋4-1-1	TEL. 06-6201-3981
神戸支店	〒650-0034	神戸市中央区京町69	TEL. 078-392-5440
広島支店	〒730-0031	広島市中区紙屋町2-1-22	TEL. 082-249-4435
高松支店	〒760-0017	高松市番町1-6-8	TEL. 087-823-7321
福岡支店	〒810-0001	福岡市中央区天神1-13-2	TEL. 092-714-5671

グループ会社一覧

IBJL東芝リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6700 (代表)
第一リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-3501-5711 (代表)
日産リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6830
興銀オートリース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6800
東芝医用ファイナンス株式会社	〒113-0033	東京都文京区本郷3-15-2	TEL. 03-3813-1021
ユニバーサルリース株式会社	〒104-0054	東京都中央区勝どき6-5-3	TEL. 03-3536-3981
東日本リース株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6818
ケイエル・リース & エステート株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6833
ケイエル商事株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6835
ケイエル・インシュアランス株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6826
ケイエル・オフィスサービス株式会社	〒105-0001	東京都港区虎ノ門1-2-6	TEL. 03-5253-6840
東邦リース株式会社	〒960-8033	福島県福島市万世町5-10	TEL. 024-521-1441
十八総合リース株式会社	〒850-0841	長崎県長崎市銅座町4-18	TEL. 095-822-1171

興銀融資租賃(中国)有限公司	(上海總公司) 上海市長寧区婁山関路555号 長房国際広場20階 08-10室 (広州分公司) 広州市天河区天河路208号 粤海天河城大厦13階-1336室
PT. IBJ VERENA FINANCE	Sentral Senayan III, 13th Floor, Jl.Asia Afrika No.8, Gelora Bung Karno, Senayan, Jakarta Pusat 10270, Indonesia
IBJ Leasing (UK) Limited	Bracken House, One Friday Street, London EC4M 9JA, U.K.
Krung Thai IBJ Leasing Co.,Ltd.	18th Floor, Nantawan Bldg., 161 Rajdamri Road, Lumpini, Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand
Japan-PNB Leasing and Finance Corporation	7th Floor, SaLustiana D. Ty Tower 104 Paseo de Roxas, Legaspi Village, Makati City, Metro Manila, Philippines



興銀リース株式会社

お問い合わせ先 興銀リース株式会社
企画部 CSR推進室
Tel : (03) 5253-6540
Fax : (03) 5253-6539
ホームページ <http://www.ibjl.co.jp>

